

## 3素材による補強材としての用途を提案

— グローバル展開を図る新規のイメージを発信 —

新日石プラス(株)不織布営業本部ミライフグループ課長 米田 弘 義



米田弘義課長

### グローバル化のための共通イメージを発信

世界3大不織布展のひとつであることから、ANEX06はわれわれ新日石プラスがANCI (Atlanta Nisseki CLAF, Inc.) と共同で、“日石ワリフ®” (英語名“CLAF®”) をグローバルに市場展開していることを認知して頂く絶好の機会と位置づけている。

新日石プラスは、アジア・オセアニアを中心に、ANCIは欧米を中心に市場展開している“日石ワリフ®”が、グローバルにビジネス展開されていることを来場者にアピールしたいと考えている。

われわれが国内の展示会に出展する場合、あるいはANCIが欧米の展示会に出展する場合も、共通イメージを打ち出すことで、両社が共同体として“日石ワリフ®”のグローバルな市場展開を図っていることが認知されるようにしたい。

全世界のお客様に“日石ワリフ®”を理解して頂くとともに購入しやすくできるよう共通のコーポレートカラーやロゴなどを考案しているところだ。こうした試みが、ANEX06では初めての展示会になるので大いに期待している。

### 「補強材としての利用」をテーマに展示

ANEX06におけるわれわれの具体的な展示内容を一言で表すなら「補強材としての利用法の提案」になる。

#### ● “日石ワリフ®”

割繊維不織布“日石ワリフ®”の場合は、同素材が補強材として使用されている応用商品などを目に見える形で展示する。“日石ワリフ®”にはこのような使用方法があるのか、というイメージを膨らませてもらうきっかけにして頂きたい。

例えば、通気性の機能と補強機能を有する通気性包材、アルミ箔を補強した防湿バリア包材などを紹介する。また、“日石ワリフ®”は、割繊維を直交積層した不織布であり松葉状の意匠を持つこと、さらに補強も兼ね備えることから、ファッションバッグの展示も行いたい。

#### ● “ミライフ®”

経緯直交不織布“ミライフ®”は、その意匠性が高く評価され、包装資材、インテリア素材などへの採用が進んでいる。この意匠性をさらに高めたグレード「FEミライフ」を紹介する。織物に近い“ミライフ®”のイメージがさらに高まった。印刷特性も向上しディスプレイとして使用した場合の効果もアップするに違いない。

われわれは“ミライフ®”を、「布ライクな光沢のある不織布」というように顧客にアピールしているが、「FEミライフ」の登場により、われわれが目標とする布ライクな不織布にさらに一歩近づけたのではないかと考えている。

また、ANEX06では“ミライフ®”を補強材として使用方法も提案したい。延伸により流れ方向の寸法安定性に優れ、しかも軽いという“ミライフ®”の特長を活かして、縦糸のみで構成された“ミライフ®”を補強材あるいは素材のキャリアとして応用して頂くことを提案する。

#### ● “コンウェッドネット®”

ANEX06は、環境関連の展示会である「ニュー環境展」や「エコ・グリーンテック」と開催時期が重なるので、環境に関心のある来場者にも立ち寄って頂けると期待している。不織布以外の異業種のエンドユーザーに不織布の使い方を知ってもらういい機会となる。

二軸延伸ネット“コンウェッドネット®”では、レギュラータイプのほかPP以外の原料で製造したSpecial Gradeも展示する。

(編集部注:“コンウェッドネット®”の市場戦略については、本誌P.32の「新春インタビュー」で詳しく紹介しています)



“ミライフ®” TY1515FE (30g/mi) を利用した包装資材